

令和8年6月30日(火)発表

報道関係者 各位

【照会先】

富山労働局労働基準部監督課
監督課長 川倉 健嗣
主任地方労働基準監察監督官 山越 立
TEL:076(432)2730

富山労働局長が建設現場の安全パトロールを行います ～ 高所からの墜落防止対策や熱中症予防対策を点検 ～

富山労働局（局長 福井 尚）は、建設業における労働災害防止対策の周知、啓発の一環として、全国安全週間期間中（7月1日～同7日）に、下記のとおり富山労働局長による建設現場の安全パトロールを行います。

富山県内では、令和7年の建設業における労働災害死亡者数が7人と全産業合計の半数を占めたこと（参考1参照）及び職場における熱中症による休業4日以上死傷者数が23人と前年比大幅に増加し、特に警備業で多く発生したこと（参考2参照）から、本パトロールでは、死亡災害につながりやすい高所からの墜落防止対策及び交通誘導を行う警備員を含めた熱中症予防対策の取組状況を重点的に点検します。

記

- 1 日 時 令和8年7月3日(金)午前9時30分から（所要時間は1時間程度を予定）
- 2 対象現場
 - 工事名：富山市芸術文化ホール※（大ホール）特定天井改修及び大規模改修工事
※ 愛称：オーバード・ホール
 - 施工者：佐藤工業・日本海建興・石坂建設・村松建設 共同企業体
 - 所在地：富山市牛島町9-28
 - 発注者：富山市
 - 工事概要：大ホールの天井改修及び舞台装置の更新など
- 3 実施体制 富山労働局長ほか関係職員4名（予定）
- 4 当日のスケジュール等 別紙のとおり

取材方よろしくお願ひします

取材を希望される報道関係者の方は、7月2日(木)午後3時まで下記担当者へご連絡ください。

富山労働局労働基準部監督課 電話:076-432-2730 担当:川倉、山越、伴

当日のスケジュール（予定）

- 9:20 現地集合（集合場所：オーバード・ホール西側搬入口付近）
- 9:30 労働局長からの挨拶
- 9:35 施工者担当職員からの工事概要説明
- 9:45 現場巡回（約30分）
- 10:15 労働局長からの講評
- 10:30 パトロール終了

報道関係者の皆様へのお願い

1 当日は午前9時20分から報道関係者の受付を行いますので、同時刻までに、集合場所へお越しください。（下記現場案内図を参照）

受付の際、注意事項の説明を行いますので、集合時刻に遅れないようにしてください。

2 現場に報道関係者用の駐車スペースはありませんので、恐れ入りますが、近隣の有料駐車場等を利用してください。（違法駐車は行わないでください。）

3 現場での事故防止のため、以下の事項を守ってください。

(1) 当日は動きやすい服装・履物でお越しください。また、現場入場の際はヘルメットを着用し、報道関係者と分かるように腕章等を使用してください。（ヘルメット及び腕章は各自ご準備をお願いします。）

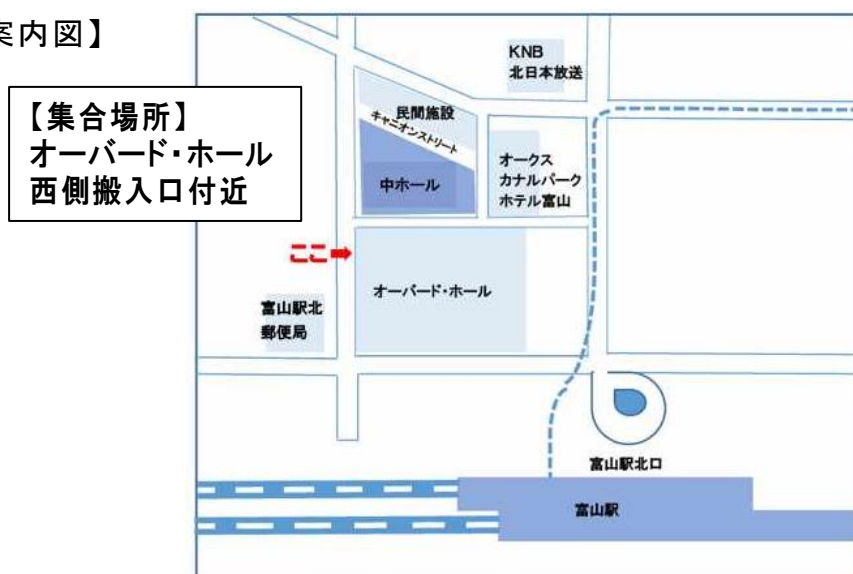
(2) 現場は空調のない場所となりますので、熱中症に注意してください。

(3) 雨天でもパトロールは実施します。屋外巡回の際に雨傘をさすことはできませんので、雨天の場合は適当な雨具（雨合羽等）をご準備ください。

(4) けがや機材の損傷等を防ぐため、持込み機材の大きさにご配慮をお願いします。

(5) 現場内では労働局又は施工者担当職員の案内に従って行動し、立入禁止区域には立ち入らないでください。

(6) 安全な作業遂行のため、作業員への取材はお控えください。

【現場案内図】

建設業における労働災害発生状況(令和7年・富山県)

令和7年(1月～12月)業種別署別労働災害発生状況(確定値)

署別	富山		高岡		魚津		砺波		合計				前年同期比											
	7年	6年	7年	6年	7年	6年	7年	6年	7年	6年	7年	6年	増減数	増減率										
業種別	死	休業	死	休業	死	休業	死	休業	死	休業	死	休業	死	休業	(%)									
全産業合計	4	523	4	504	4	353	4	386	2	202	1	208	4	165	3	180	14	1243	12	1278	2	-35	-2.7	
建設業	土木工事業	1	9	1	17	1	15	1	15	2	8	1	9	3	10	1	16	4	42	2	57	2	-15	-26.3
	建築工事業	1	35	1	34	1	19	2	32	1	13	1	17	1	9	1	12	2	76	3	95	-1	-19	-20.0
	木造家屋建築工事業	1	9	1	4	1	8	1	19	1	5	1	5	1	2	1	4	1	24	1	32	1	-8	-25.0
	その他の建設業	1	8	1	11	1	8	1	10	1	5	1	7	1	8	1	2	1	29	1	30	1	-1	-3.3
	建設業計	2	52	2	62	1	42	4	57	1	26	1	33	3	27	1	30	7	147	6	182	1	-35	-19.2

- * 1 各数値は、労働者死傷病報告を集計したもので、死亡及び休業4日以上の災害を対象としている。
- * 2 死亡者数は、内数である。
- * 3 木造家屋建築工事業の数は建築工事業の内数である。
- * 4 増減率は、死亡及び休業4日以上の災害の合計に係る率である。

建設業における死亡災害一覧(令和7年)

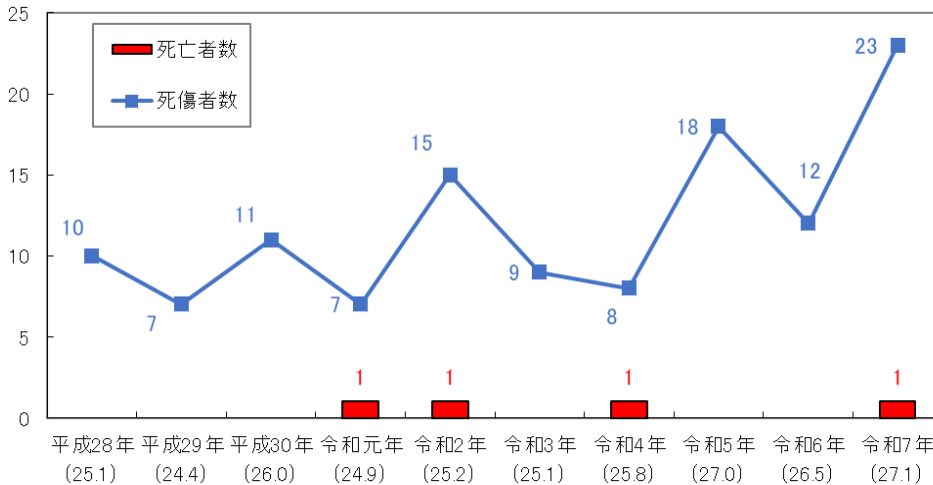
番号	発生月	業種	起 因 物	事 故 の 型	年代	経験年数	災 害 発 生 状 況
1	2月	その他の建設業	クレーン	はさまれ、巻き込まれ	40歳代	20年	天井クレーンのガータ上で、クレーンを動かしながら点検作業を行っていたところ、建屋の鉄骨とクレーンの手すりとの間に頭部を挟まれた。
2	2月	建築工事業	解体用機械	激突され	70歳代	19年	解体工事で発生したコンクリート廃材をダンプトラックで処理場へ搬入し、ダンプトラックから降車したところ、その場で倒れ死亡した。近くで作業を行っていた重機のアームが接触したものと推定される。
3	3月	土木工事業	地山、岩石	崩壊、倒壊	30歳代	1年	深さ約2mの掘削溝内で手元作業を行っていたところ、溝の側面が崩壊し土砂に埋まった。
4	5月	建築工事業 (木造家屋建築工事業)	分類不能	分類不能	70歳代	13年	木造家屋解体工事現場において、廃材搬出等に従事していた被災者が、建物の軒下で血を流して倒れているところを発見された。
5	10月	土木工事業	乗用車、バス、バイク	交通事故(道路)	50歳代	28年	工事現場で打ち合わせを行った後、現場事務所へ乗用車で移動中、車ごと崖から転落した。
6	11月	土木工事業	建設物、構築物	墜落、転落	40歳代	5年	橋りょうへの足場設置に当たり、その下方に生えており作業に支障のあった樹木を伐採した後、上部へ戻ろうとしたところ、誤って高さ約10mの位置から川へ墜落した。
7	12月	土木工事業	水	おぼれ	30歳代	20年	橋りょうへの足場設置工事中、ダムの放流により、干上がった水路に水が流れ始めたため、はしごを下りて水路内に置いていた部材を取りにいったところ、水量が急激に増え、はしごとともに水に流された。

職場における熱中症による死傷災害発生状況(令和7年・富山県)

1 職場における熱中症による死傷者数の推移(過去10年間)

富山県内における、令和7年の職場における熱中症による休業4日以上死傷者数は、令和6年より11人増加して23人となり過去10年間で最も多くなった。また、死亡者が1人発生した。増加した要因として、令和7年の夏季(6月～8月)における平均気温が令和6年より高かったことが考えられる。

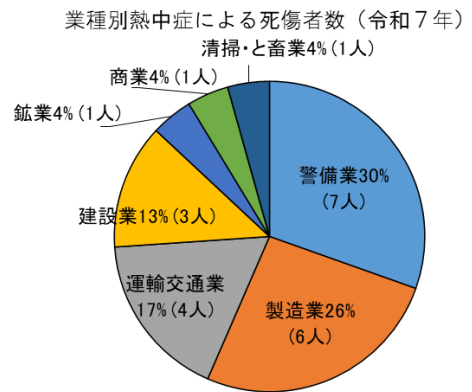
職場における熱中症による死傷者数(H28年～R7年)



※ 括弧内の数値は6月～8月の平均気温(°C)を示す(気象庁HPの気象データから引用)

2 業種別発生状況

令和7年の職場における熱中症による休業4以上の死傷者数(以下「熱中症による死傷者数」という。)を業種別にみると、警備業が7人(30%)で最も多く、次いで製造業6人(26%)、運輸交通業4人(17%)、建設業3人(13%)となった。このほか、鉱業、商業及び清掃・と畜業でそれぞれ1人(4%)発生した。



3 死亡災害事例

発生年月 時間帯	業種	年齢	経験年数	気温	湿度	事案の概要
R7.7 12時台	製造業	40歳代	1年	31.7℃	70%	設備の補修作業を行っていた被災者が休憩所に戻って来なかったことから、同僚が様子を見に行ったところ、意識不明の状態で見られ、救急搬送後に死亡が確認された。